

# 評価結果

		作成年月日		平成27年 11月 20日	
		事業担当課		道路課	
事業名	一般県道大島浪板線 浪板工区道路改良事業	補助・交付金・ 単独の別	補助	事業主体	宮城県
施行地名	気仙沼市浪板地内	【位置図後掲】		管理主体	宮城県
根拠法令	道路法第56条				
事業概要	事業目的	<p>一般県道大島浪板線（浪板工区）は、三陸縦貫自動車道の（仮称）大島IC、（仮称）気仙沼北IC及び国道45号と接続することにより震災復興、救急医療の確保及び地域間交流等に寄与する道路である。</p> <p>また、当該道路は浪板・大浦地区の防災集団移転団地へのアクセス道路であり離島大島を結ぶ唯一の道路でもあるため、津波浸水区域を避けた位置に計画しており、周辺地域における災害時等の緊急避難路又は復興支援道路として必要不可欠な道路である。</p>			
	事業内容				
	事業着手時 (平成23年度)	<b>【計画概要】</b> 延長 L=2.75km 道路幅員 W=6.0(10.0)m 全体事業費 C=40億円	<b>【計画諸元】</b> 道路規格 第3種第3級 設計速度 50km/h 計画交通量 3,500台/日		
	再評価時 (平成27年度)	<b>【計画概要】</b> 延長 L=2.74km 道路幅員 W=6.5(10.5)m 全体事業費 C=64億円	<b>【計画諸元】</b> 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 4,100～ 5,500台/日		
概要	<b>【事業内容の変更状況とその要因】</b> ・震災後の交通ネットワーク見直しに伴い計画交通量が変更となったため、道路規格、道路幅員及び設計速度を変更。				

事業費

	全体事業費		費用負担内訳			
		内用地費 及び 補償費	国 [ 50 %]	県 [ 50 %]	市町村 [ — %]	その他 ( ) [ — %]
事業着手時 (平成23年度)	40.0 億円	14.1 億円	20.0 億円	20.0 億円	— 億円	— 億円
再評価時 (平成27年度)	64.0 億円	28.2 億円	32.0 億円	32.0 億円	— 億円	— 億円

※事業費増加度（重点評価実施基準 指標4）

$$= (再評価時事業費 - 事業着手時事業費) / 事業着手時事業費 = 60.0\%$$

【事業費の変更状況とその要因】

- ・用地買収面積、補償物件数の精査及び補償単価増による用地補償費の増額  
(用地買収面積11万m2⇒14万m2、用地補償単価12,200円/m2⇒8,000円/m2、物件補償14軒⇒37軒、物件補償単価500万円/軒⇒4,600万円/軒)
- ・軟弱地盤対策工等の増額

○事業費増減対照表

	事業着手時 (平成23年度)		再評価時 (平成27年度)		増減		変更の主な理由
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
本工事費		61.5% 24.6億円		51.9% 33.2億円		35.8% 8.6億円	
道路改良工	2.8km	24.6億円	2.7km	33.2億円		8.6億円	軟弱地盤対策工等の増工
測量及び試験費	一式	3.25% 1.3億円	一式	4.0% 2.6億円		5.4% 1.3億円	軟弱地盤解析等の増工
用地費及び補償費	一式	35.25% 14.1億円	一式	44.1% 28.2億円		58.8% 14.1億円	補償物件の増、補償単価の上昇
その他工事費等							
合計		100% 40億円		100% 64億円		100% 24億円	

事業の進捗状況 規則第24条第1号関係

○事業期間

	事業着手時 (平成23年度)		再評価時 (平成27年度)
事業採択予定年度	H. 23年度	事業採択年度	H. 23年度
用地買収着手予定年度	H. 24年度	用地買収着手年度	H. 24年度
工事着手予定年度	H. 24年度	工事着手年度	H. 24年度
		計画変更実施(予定)年度	—
完成予定年度	H. 29年度	完成予定年度	H. 30年度

- ・再評価時の完成予定年度は、今回再評価に際し見直したもの。  
(平成27年度に、完成予定年度を平成29年度から平成30年度へ見直した)

※事業停滞年数（重点評価実施基準指標1）＝0年  
 ※事業工期延伸度（重点評価実施基準指標3）＝（変更後予定事業期間）／（当初予定事業期間）  
 ＝8／7＝1.14

○進捗率

平成27年度までの		※（ ）：前回再評価時	
事業費	進捗率	内用地費 及び補償費	進捗率
（ - ）	（ - ）	（ - ）	（ - ）
37.0億円	57.8%	18.9億円	67.0%

※事業工程乖離度（重点評価基準指標2）  
 ＝（累加投資事業費／現全体事業費）－（累加年単純割額／現全体事業費）  
 ＝（37／64）－（（64／8×5）／64）＝△4.7%

【事業の進捗状況（順調でない場合にはその要因）】

現在事業用地の買収を進めており、大浦地区については買収済み箇所から先行して道路改良工事を進捗させている。

一方、浪板地区の地権者の中には移転先である近接の防災集団移転団地造成が未了のため物理的に移転できない方が点在しており、用地買収が進まず工事発注が遅延している。

【今後の進捗の見込み（事業スケジュール表後掲）】

平成27年度内に防災集団移転団地は造成完了する予定のため、平成28年度以降は用地買収が大幅に進捗し、残工事も徐々に発注可能となるため、平成30年度の事業完成を見込んでいる。

施設管理の予定・管理状況

事業区間の道路施設は宮城県が管理することになる。

なお、平成13年度から全県的に推進しているアドプト制度「みやぎスマイルロード・プログラム」※を活用し、清掃や緑化等の美化活動に努めていく。

※「みやぎスマイルロード・プログラム」

道路美化等のボランティア活動に意欲を持つ地域住民や企業を「スマイルサポーター」に認定し、スマイルサポーター・地元市町村・宮城県（道路管理者）の三者のパートナーシップにより、県管理道路の一定区間の清掃や緑化等の美化活動、歩道の除雪などを実施する制度。

事業概要

事業の必要性	上位計画等	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県震災復興計画（平成23年10月策定） 「国道、県道の整備及び市町村道整備の支援」として、”沿岸部においては、離島振興のため大島架橋事業を進める”としている。</li> <li>気仙沼市震災復興計画（平成23年10月策定） 「大島架橋の整備」として、”本市においても、日常生活の利便性向上や産業・経済の振興発展を図るとともに、災害時などの安全・安心を支える防災道路として、平成30年度完成に向け整備を促進します”としている。</li> </ul>
	事業を巡る社会経済情勢等	規則第24条2号関係
事業の有効性	○社会経済情勢	<p>(一) 大島浪板線については、三陸縦貫自動車道（仮称）大島IC～大島本土までのアクセスについて、県において整備中であり、平成30年度完成予定としている。</p> <p>また、三陸縦貫自動車道については、国直轄事業にて整備中であり、平成30年度以降に（仮称）大島IC、（仮称）気仙沼北ICが供用される予定となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現況交通（H22センサス） 903台/日 ((一) 大島浪板線)</li> </ul>
	○地元情勢，地元の意見	<p>現道（一）大島浪板線は線形が悪く幅員が狭いが、当該道路を整備することで、線形が改良され、幅員も広がるため、車両及び歩行者の安全が確保されることになる。</p> <p>また、当該道路は、災害時の避難道路、防災集団移転団地へのアクセス、離島大島からのアクセス及び三陸縦貫自動車道へのアクセス機能をもつため、地域の防災力向上に寄与し、かつ都市圏からの交流人口の増加も期待されることから、地元から早期完成が望まれている。</p> <p>気仙沼大島架橋促進期成同盟会（会長 気仙沼市長） 平成22年3月18日提出 気仙沼大島架橋の早期整備に関する要望書</p> <p>なお、複数の事業が関連するような事業を早期に進めるためには、あらかじめまちづくりの青写真について地元合意を得ておくことが重要であることを確認した。</p>
事業の有効性	事業効果	<p>○効果の発現状況</p> <p>現時点で供用している箇所がないため、まだ整備効果の発現には至っていない。</p> <p>○想定される事業効果</p> <p>(1) 車両通行の安全の確保</p> <p>現道（一）大島浪板線は、大型車両の交互通行が困難な狭隘道路であるが、当該道路整備にて幅員が広がることで車両及び歩行者の交通の安全が確保される。</p> <p>(2) 津波避難路としての機能</p> <p>現道（一）大島浪板線は、東日本大震災時に津波浸水被害を受けているが、当該道路は津波浸水範囲を外して内陸側に計画しているため、防災集団移転団地住民等のための津波避難路としての機能が確保される。</p> <p>(3) 離島大島からのアクセス確保</p> <p>当該道路は、離島大島からのアクセス道路にもなるため、離島の隔絶性解消に寄与する。</p> <p>(4) 三陸縦貫自動車道へのアクセス向上</p> <p>当該道路は三陸縦貫自動車道ICへのアクセス道路であるため、観光、物流ルートとしての利便性が向上する。</p>

事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等	
	<p>① (一) 大島浪板線の整備 ((仮称) 大島 I C ~ 気仙沼市大島)  : 事業主体 宮城県 平成 30 年度完成予定</p> <p>② 三陸縦貫自動車道の整備  : 事業主体 国土交通省 平成 30 年度以降完成予定</p>	
	代替案との比較検討	規則第 24 条第 3 号関係
	<p>住民説明会にて概ねの合意を得、平成 23 年度から平成 27 年度にかけて用地買収及び工事を実施しているところであり、代替案はない。</p>	
	コスト削減計画	規則第 24 条第 4 号関係
	<p>道路建設のコスト削減については、盛土材に購入土を用いて施工することとしていたが、他の公共事業と施工時期等の調整を行った結果、発生土を使用することが可能となったことから、約 1.2 億円の節減を行っている。</p> <p><b>【参考】</b>  (当初)  ・切土 28 万 m<sup>3</sup>、盛土 36 万 m<sup>3</sup>、購入土 8 万 m<sup>3</sup> → (8 万 m<sup>3</sup> × 2 千円 / m<sup>3</sup> = 1.6 億円)  (今回)  ・切土 28 万 m<sup>3</sup>、盛土 36 万 m<sup>3</sup>、発生土 8 万 m<sup>3</sup> → (8 万 m<sup>3</sup> × 500 円 / m<sup>3</sup> (運搬費) = 0.4 億円)  ⇒ 1.2 億円のコスト削減</p> <p>道路計画にあたっては、近接する防災集団移転促進事業と調整し、道路と防災集団移転団地で発生する土工量の低減に配慮している。</p> <p>また、舗装の長寿命化 (耐用年数 10 年の設計 ⇒ 耐用年数 20 年の設計) を計画することで 20 年期間におけるコスト削減を図った。(91 百万円のコスト削減)</p>	

費用対効果 規則第24条第5号関係

根拠マニュアル：費用便益分析マニュアル（国土交通省 道路局 都市・地域整備局）  
 （平成20年版）

社会的割引率： 4 %

便益算定期間： 50年

事業の効  
率  
性

区分	事業着手時 基準年（平成23年）	再評価時 基準年（平成27年）		
	<全体>	<全体>	<残事業>	
費用項目	建設費	38.8億円	60.6億円	25.4億円
	維持管理費	3.5億円	3.4億円	3.4億円
	総費用	42.3億円	64.0億円	28.8億円
	現在価値（C）	33.5億円	60.4億円	24.5億円
便益項目	走行時間短縮便益	157.0億円	143.0億円	143.0億円
	走行経費減少便益	19.5億円	19.3億円	19.3億円
	交通事故減少便益	4.0億円	6.4億円	6.4億円
	総便益	180.5億円	168.6億円	168.6億円
	現在価値（B）	63.9億円	68.3億円	68.3億円
費用便益比（B/C）		1.91	1.13	2.8

【便益の概要、主な算出根拠等】

- ・現況交通（H22センサス）903台/日
- ・計画交通量 4,100～5,500台/日

※算出便益

- 「走行時間短縮便益」：道路の整備の有無による総走行時間費用の差で表す便益
- 「走行経費減少便益」：道路の整備の有無による走行経費（燃料費や車両償却費等の走行条件により改善される経費）の差で表す便益
- 「交通事故減少便益」：道路の整備の有無による社会的損失（交通事故による人的、物的損失等）の差で表す便益

【事業着手時との違いの要因】

- ・交通ネットワーク変更に伴う計画交通量の増  
 （3,500台/日 → 4,100～5,500台/日）

- ・補償費算定の条件の違い

当初物件補償については、市の街づくり計画及び河川災害復旧事業と錯綜しない、確実に事業実施可能な地区のみ計上（14軒）していたが、再評価時は、他事業との調整で補償範囲が確定したことにより、補償すべき物件が増加した（14軒⇒37軒）。

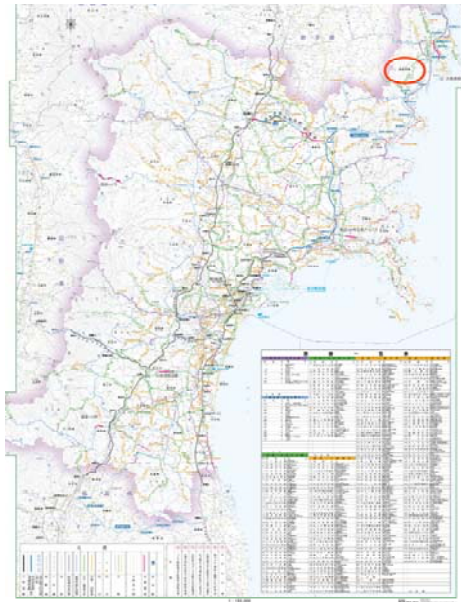
また、当初物件補償単価については、当該地域が津波による全半壊住居が多かったため、住居の利用は不可と判断し、補償費を解体費として一律5百万円/軒と想定していたが、増工した物件（23軒）は概ね健全であったため補償単価が高いこと及び、従来計上分（14軒）についても民家を補修して居住し続けたこと等により補償単価が上昇しており、平均補償単価は上昇している。（500万円/軒⇒4,600万円/軒）

- ・事業費増（40億円→64億円）及び事業期間の延伸（7年間→8年間）

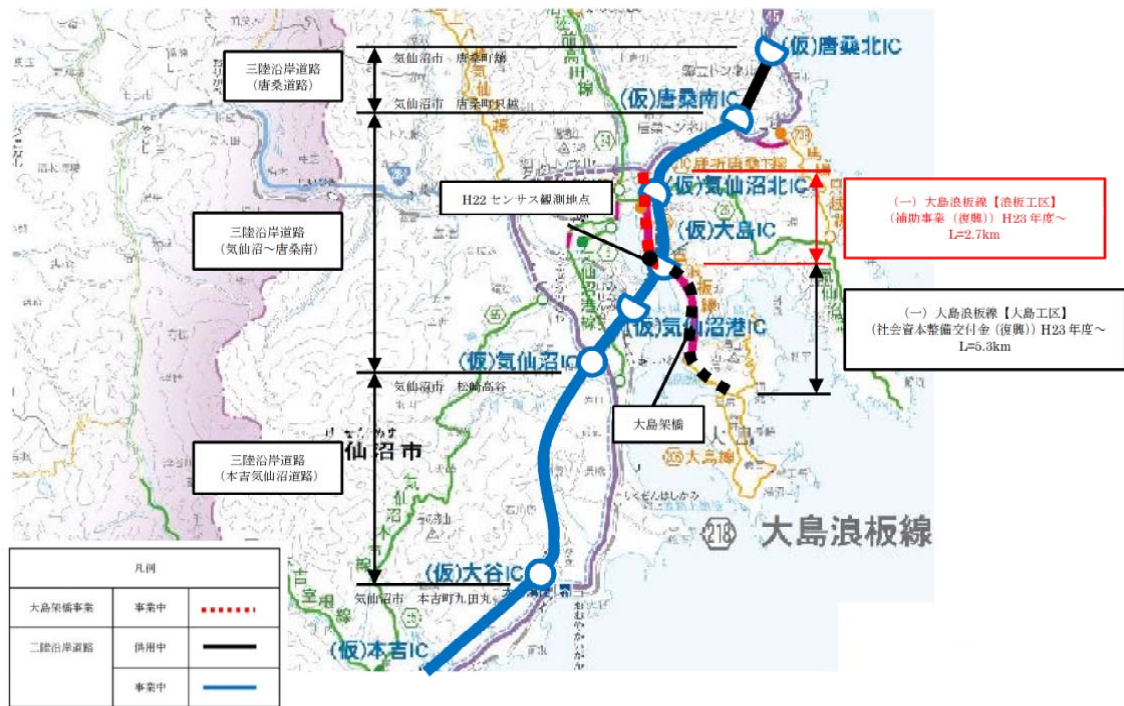
なお、事業着手時の費用算出にあたっては、他事業財源による費用負担の有無にかかわらず、当該事業の用地に関して用地補償費を全て計上する必要があり、将来的に不確実な用地補償費についても期待値として計上しておくことが重要であることを確認した。

環境への影響と対策	地域指定状況等																																																			
	特になし																																																			
影響と対策	<p>道路改良の盛土法面において緑化を行う。 低騒音振動重機を利用し、周辺環境への騒音・振動に配慮する。</p>																																																			
総合評価	対応方針																																																			
	事業継続																																																			
事業スケジュール表	<p>○事業スケジュール表 (一) 大島浪板線浪板工区道路改良事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="8">年度</th> </tr> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・設計</td> <td colspan="4">[Blue bar]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="5">[Blue bar]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td colspan="7">[Blue bar]</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <table border="1"> <tr> <td>事業着手時</td> <td>[Blue bar]</td> </tr> <tr> <td>再評価時</td> <td>[Red bar]</td> </tr> </table> </div>	項目	年度								H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	調査・設計	[Blue bar]									用地補償		[Blue bar]								工事		[Blue bar]								事業着手時	[Blue bar]	再評価時	[Red bar]
	項目		年度																																																	
H23		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																												
調査・設計	[Blue bar]																																																			
用地補償		[Blue bar]																																																		
工事		[Blue bar]																																																		
事業着手時	[Blue bar]																																																			
再評価時	[Red bar]																																																			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・設計 物件補償費算定のための建物調査が必要となったため、実施期間を延伸している。</li> <li>用地補償 地権者の移転希望先である防災集団移転団地整備の遅延が原因で、やむをえず用地補償期間を延伸している。</li> <li>工事 用地補償時期が遅れるため、工事完成時期を平成29年度から平成30年度としている。</li> </ul>																																																			

位



置



図



(参考資料1)

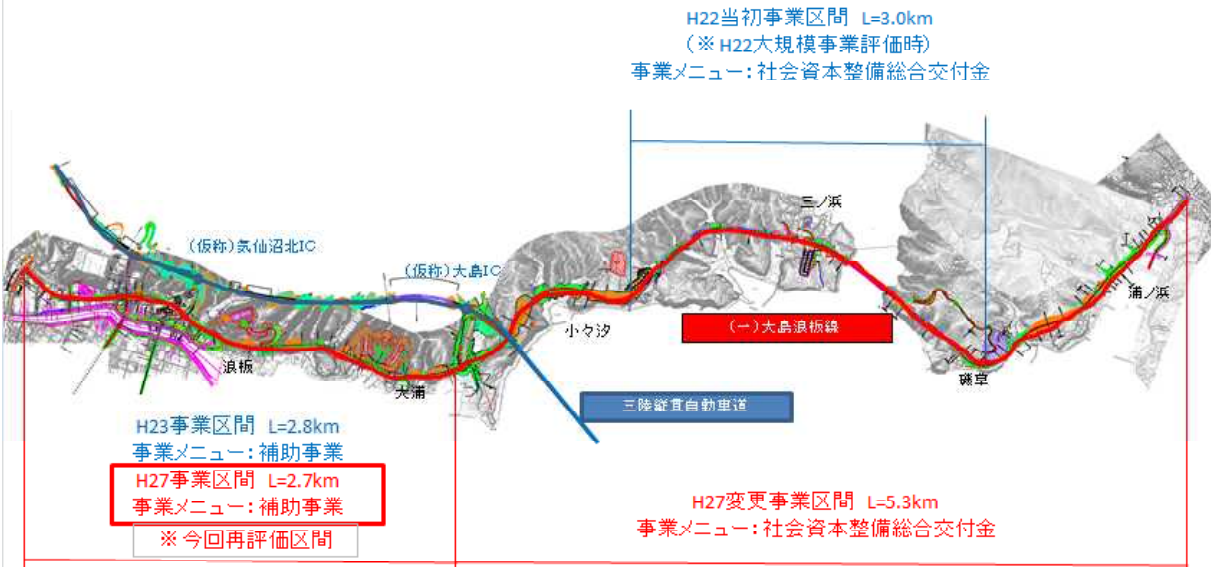
## 事業概要図

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
-----	---------------------	------	----------

○概要図

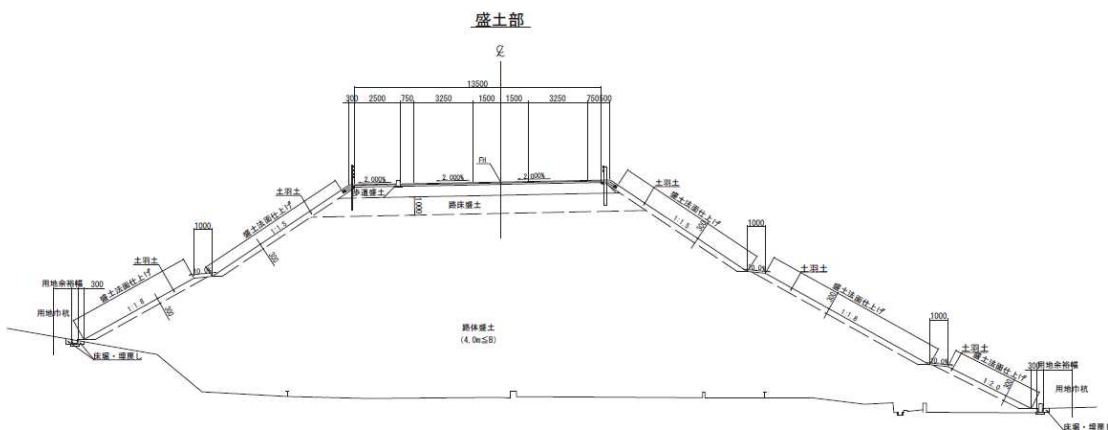
### 平面図

#### ■一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業の事業区間について



※事業再評価該当箇所は、「補助事業 としての 一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業 L=2.7km」になる。

### 断面図 1



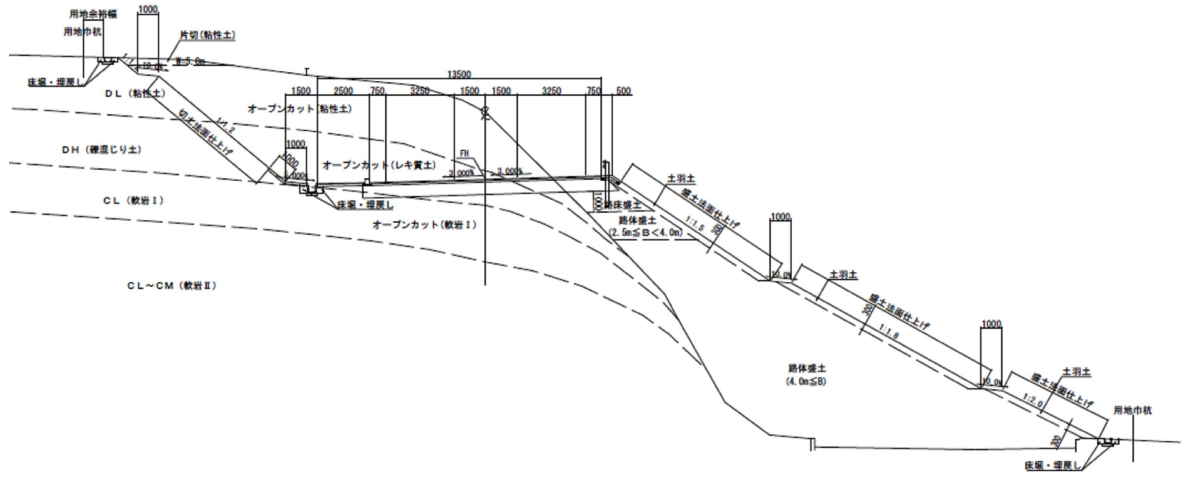
# 事業概要図

<b>事業名</b>	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	<b>施工地名</b>	気仙沼市浪板地内
------------	---------------------	-------------	----------

○概要図

断面図2

**切土部**



(参考資料 2)

## 事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
-----	---------------------	------	----------

### ○路線図



○起点部（写真左。北から南を望む）及び終点部（写真右。東から西を望む）





(参考資料2)




## 事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
○現道状況（すれ違い困難状況）			
			
○施工状況			
・浪板地区（防災集団移転団地 浪板2区付近）盛土工 実施状況			
			
・大浦地区（防災集団移転団地 大浦区付近）下層路盤工 完了状況			
			

## 事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
<p data-bbox="204 376 1085 407">・大浦地区（防災集団移転団地 大浦地区付近）切盛土工 完成状況</p>  <p data-bbox="204 904 853 936">・大浦地区（大浦漁港付近）地盤改良工 実施状況</p>  <p data-bbox="180 1435 512 1467"><b>【参考】</b> 交付金工区の状況</p> <p data-bbox="204 1469 839 1500">・小々汐地区（小々汐漁港付近）盛土工 実施状況</p> 			

## 事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
<p data-bbox="204 376 571 409">・ 浦島 1 号トンネル完成写真</p>  <p data-bbox="204 869 571 902">・ 浦島 2 号トンネル完成写真</p>  <p data-bbox="204 1395 1056 1429">・ 三ノ浜地区（防災集団移転団地 梶ヶ浦地区付近）暫定供用開始</p> 			



(参考資料 2)

## 事業施行状況等

事業名	一般県道大島浪板線浪板工区道路改良事業	施工地名	気仙沼市浪板地内
<p data-bbox="188 376 766 409">・大島架橋本体工事施工状況（下部工掘削工）</p>  <p data-bbox="188 1081 510 1115">・乙姫トンネル施工状況</p> 			

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
(一) 大島浪板線	浪板工区	L=2.7km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
4,100~5,500	2	宮城県

## ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成27年度		
単純合計	60.6億円	3.4億円	64.0億円
うち残事業分	25.4億円	3.4億円	28.8億円
基準年における 現在価値 (C)	59.1億円	1.3億円	60.4億円
うち残事業分	23.2億円	1.3億円	24.5億円

## ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成27年度			
供用年	平成31年度			
単年便益 (初年便益)	3.4億円	0.46億円	0.15億円	4.0億円
基準年における 現在価値 (B)	57.9億円	7.8億円	2.6億円	68.3億円
うち残事業分	57.9億円	7.8億円	2.6億円	68.3億円

## ③ 結果

費用便益比 (事業全体)	1.13
経済的純現在価値 (事業全体)	8 億円
経済的内部収益率 (事業全体)	4.6%
費用便益比 (残事業)	2.8
経済的純現在価値 (残事業)	44 億円
経済的内部収益率 (残事業)	12.4%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。



④ 感 度 分 析 （事業全体）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	4,100～5,500 （台/日）	±10%	1.1～1.2
事業費	61億円	±10%	1.1～1.2
事業期間	8年	±1年	1.1～1.2

④ 感 度 分 析 （残事業）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	4,100～5,500 （台/日）	±10%	2.7～2.9
事業費	25億円	±10%	2.5～3.1
事業期間	3年	±1年	2.7～2.9

様式記入上の留意点

1. 基準年は評価実施年度とする。残事業分は評価実施年度の翌年度以降分を計上。
2. 費用及び便益額は整数止（費用・便益の額によって小数点以下2桁）とする。
3. 費用便益比は小数点以下1桁とする。
4. 単年便益（初年便益）は4月1日供用を前提として算出

路線名	(一)大島浪板線	
事業名	浪板工区	
延長	2.74	km
事業種別	二次改築	
現拓・BP・その他の別	BP	
車線数	2	車線

基準年	27	年
供用年次	31	年

維持管理費単価	0.026	億円/km
---------	-------	-------

事業費

単位:100万円

	工事費等			用地費	受託 工事費	事業費 合計
	工事費	補償費	計			
平成16年度			0.00			0.00
平成17年度			0.00			0.00
平成18年度			0.00			0.00
平成19年度			0.00			0.00
平成20年度			0.00			0.00
平成21年度			0.00			0.00
平成22年度			0.00			0.00
平成23年度	60.00		60.00	0.00		60.00
平成24年度	233.36	29.18	262.54	37.46		300.00
平成25年度	506.27	351.13	857.40	322.60		1,180.00
平成26年度	556.67	339.61	896.28	263.72		1,160.00
平成27年度	450.00	350.00	800.00	200.00		1,000.00
平成28年度	429.00	335.24	764.24	591.76		1,356.00
平成29年度	1,070.00	0.00	1,070.00	0.00		1,070.00
平成30年度	274.00	0.00	274.00	0.00		274.00
平成31年度			0.00			0.00
平成32年度			0.00			0.00
平成33年度			0.00			0.00
平成34年度			0.00			0.00
平成35年度			0.00			0.00
平成36年度			0.00			0.00
平成37年度			0.00			0.00
平成38年度			0.00			0.00
平成39年度			0.00			0.00
平成40年度			0.00			0.00
平成41年度			0.00			0.00
合計	3,579.30	1405.16	4984.46	1415.54	0.00	6400.00

# 交通状況の変化

様式-3①

事業名:(一)大島浪板線(浪板工区)(事業全体・残事業)

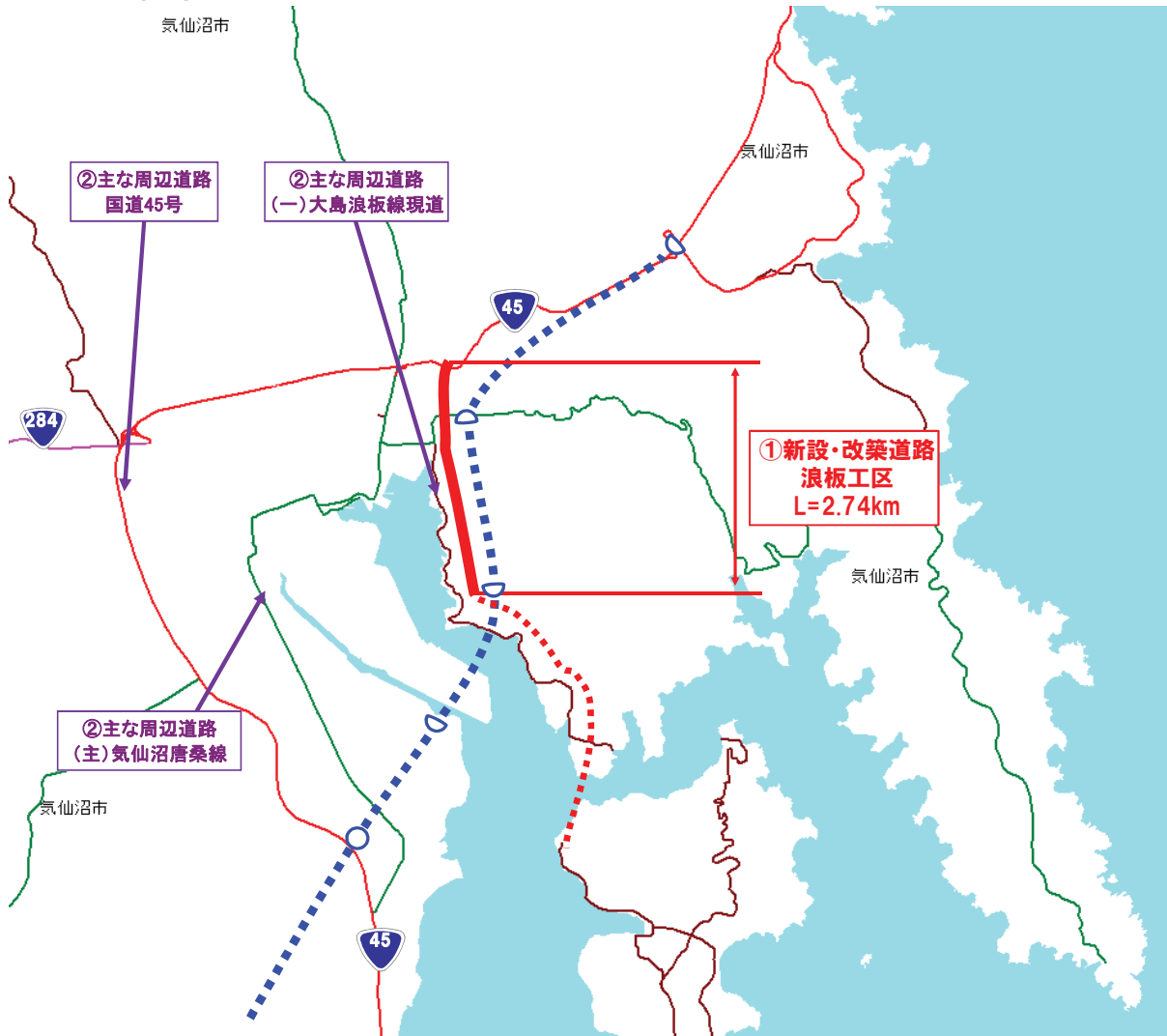
(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (浪板工区) 延長:2.7km	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	5,100	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	4	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	3.25	
②主な 周辺道路	(一)大島浪板線現道 :2.5km	交通量	[台/日]	2,700	0
		走行時間	[分]	5	0
		走行時間費用	[億円/年]	2.29	0.00
	国道45号 :6.0km	交通量	[台/日]	4,300	3,900
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	6.36	5.76
	(主)気仙沼唐桑線 :1.3km	交通量	[台/日]	13,100	12,300
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	5.53	5.02
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 :221.5km	走行時間費用	[億円/年]	166.39	163.36	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間 短縮便益 (A-B)
合計:234.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	180.58	177.39	3.18

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



## 費用便益分析の条件

事業名：（一）大島浪板線（浪板工区）

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成27年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他( )	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ( )台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他( )		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他(各回の配分開始時の速度を交通量でウェイト付けして設定)	<input checked="" type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		( ) %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他 ( )		<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：(一)大島浪板線(浪板工区)

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
その他			
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他( )	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	<input type="checkbox"/> 事業費を考慮 <input type="checkbox"/> 維持管理費を考慮 当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:(一)大島浪板線(浪板工区)(事業全体)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	単純価値(億円)
				0.026	2.74		0.07
-8年目	H 23	1.1699	92.1	0.57	0.66		
-7年目	H 24	1.1249	91.3	2.87	3.23		
-6年目	H 25	1.0816	91.1	11.39	12.32		
-5年目	H 26	1.0400	91.1	10.94	11.37		
-4年目	H 27	1.0000	91.1	9.41	9.41		
-3年目	H 28	0.9615	91.1	12.99	12.49		
-2年目	H 29	0.9246	91.1	9.91	9.16		
-1年目	H 30	0.8890	91.1	2.54	2.26		
供用開始年次	H 31	0.8548	91.1			0.07	0.06
1年目	H 32	0.8219	91.1			0.07	0.06
2年目	H 33	0.7903	91.1			0.07	0.05
3年目	H 34	0.7599	91.1			0.07	0.05
4年目	H 35	0.7307	91.1			0.07	0.05
5年目	H 36	0.7026	91.1			0.07	0.05
6年目	H 37	0.6756	91.1			0.07	0.05
7年目	H 38	0.6496	91.1			0.07	0.04
8年目	H 39	0.6246	91.1			0.07	0.04
9年目	H 40	0.6006	91.1			0.07	0.04
10年目	H 41	0.5775	91.1			0.07	0.04
11年目	H 42	0.5553	91.1			0.07	0.04
12年目	H 43	0.5339	91.1			0.07	0.04
13年目	H 44	0.5134	91.1			0.07	0.03
14年目	H 45	0.4936	91.1			0.07	0.03
15年目	H 46	0.4746	91.1			0.07	0.03
16年目	H 47	0.4564	91.1			0.07	0.03
17年目	H 48	0.4388	91.1			0.07	0.03
18年目	H 49	0.4220	91.1			0.07	0.03
19年目	H 50	0.4057	91.1			0.07	0.03
20年目	H 51	0.3901	91.1			0.07	0.03
21年目	H 52	0.3751	91.1			0.07	0.03
22年目	H 53	0.3607	91.1			0.07	0.02
23年目	H 54	0.3468	91.1			0.07	0.02
24年目	H 55	0.3335	91.1			0.07	0.02
25年目	H 56	0.3207	91.1			0.07	0.02
26年目	H 57	0.3083	91.1			0.07	0.02
27年目	H 58	0.2965	91.1			0.07	0.02
28年目	H 59	0.2851	91.1			0.07	0.02
29年目	H 60	0.2741	91.1			0.07	0.02
30年目	H 61	0.2636	91.1			0.07	0.02
31年目	H 62	0.2534	91.1			0.07	0.02
32年目	H 63	0.2437	91.1			0.07	0.02
33年目	H 64	0.2343	91.1			0.07	0.02
34年目	H 65	0.2253	91.1			0.07	0.02
35年目	H 66	0.2166	91.1			0.07	0.01
36年目	H 67	0.2083	91.1			0.07	0.01
37年目	H 68	0.2003	91.1			0.07	0.01
38年目	H 69	0.1926	91.1			0.07	0.01
39年目	H 70	0.1852	91.1			0.07	0.01
40年目	H 71	0.1780	91.1			0.07	0.01
41年目	H 72	0.1712	91.1			0.07	0.01
42年目	H 73	0.1646	91.1			0.07	0.01
43年目	H 74	0.1583	91.1			0.07	0.01
44年目	H 75	0.1522	91.1			0.07	0.01
45年目	H 76	0.1463	91.1			0.07	0.01
46年目	H 77	0.1407	91.1			0.07	0.01
47年目	H 78	0.1353	91.1			0.07	0.01
48年目	H 79	0.1301	91.1			0.07	0.01
49年目	H 80	0.1251	91.1	-14.16	-1.77	0.07	0.01
合計				46.46	59.13	3.39	1.30
単純事業費計				60.62		3.39	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。



## 費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:(一)大島浪板線(浪板工区)(残事業)

					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.026	2.74	0.07
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-8年目	H 23	1.1699	92.1	0.00	0.00		
-7年目	H 24	1.1249	91.3	0.00	0.00		
-6年目	H 25	1.0816	91.1	0.00	0.00		
-5年目	H 26	1.0400	91.1	0.00	0.00		
-4年目	H 27	1.0000	91.1	0.00	0.00		
-3年目	H 28	0.9615	91.1	12.99	12.49		
-2年目	H 29	0.9246	91.1	9.91	9.16		
-1年目	H 30	0.8890	91.1	2.54	2.26		
供用開始年次	H 31	0.8548	91.1			0.07	0.06
1年目	H 32	0.8219	91.1			0.07	0.06
2年目	H 33	0.7903	91.1			0.07	0.05
3年目	H 34	0.7599	91.1			0.07	0.05
4年目	H 35	0.7307	91.1			0.07	0.05
5年目	H 36	0.7026	91.1			0.07	0.05
6年目	H 37	0.6756	91.1			0.07	0.05
7年目	H 38	0.6496	91.1			0.07	0.04
8年目	H 39	0.6246	91.1			0.07	0.04
9年目	H 40	0.6006	91.1			0.07	0.04
10年目	H 41	0.5775	91.1			0.07	0.04
11年目	H 42	0.5553	91.1			0.07	0.04
12年目	H 43	0.5339	91.1			0.07	0.04
13年目	H 44	0.5134	91.1			0.07	0.03
14年目	H 45	0.4936	91.1			0.07	0.03
15年目	H 46	0.4746	91.1			0.07	0.03
16年目	H 47	0.4564	91.1			0.07	0.03
17年目	H 48	0.4388	91.1			0.07	0.03
18年目	H 49	0.4220	91.1			0.07	0.03
19年目	H 50	0.4057	91.1			0.07	0.03
20年目	H 51	0.3901	91.1			0.07	0.03
21年目	H 52	0.3751	91.1			0.07	0.03
22年目	H 53	0.3607	91.1			0.07	0.02
23年目	H 54	0.3468	91.1			0.07	0.02
24年目	H 55	0.3335	91.1			0.07	0.02
25年目	H 56	0.3207	91.1			0.07	0.02
26年目	H 57	0.3083	91.1			0.07	0.02
27年目	H 58	0.2965	91.1			0.07	0.02
28年目	H 59	0.2851	91.1			0.07	0.02
29年目	H 60	0.2741	91.1			0.07	0.02
30年目	H 61	0.2636	91.1			0.07	0.02
31年目	H 62	0.2534	91.1			0.07	0.02
32年目	H 63	0.2437	91.1			0.07	0.02
33年目	H 64	0.2343	91.1			0.07	0.02
34年目	H 65	0.2253	91.1			0.07	0.02
35年目	H 66	0.2166	91.1			0.07	0.01
36年目	H 67	0.2083	91.1			0.07	0.01
37年目	H 68	0.2003	91.1			0.07	0.01
38年目	H 69	0.1926	91.1			0.07	0.01
39年目	H 70	0.1852	91.1			0.07	0.01
40年目	H 71	0.1780	91.1			0.07	0.01
41年目	H 72	0.1712	91.1			0.07	0.01
42年目	H 73	0.1646	91.1			0.07	0.01
43年目	H 74	0.1583	91.1			0.07	0.01
44年目	H 75	0.1522	91.1			0.07	0.01
45年目	H 76	0.1463	91.1			0.07	0.01
46年目	H 77	0.1407	91.1			0.07	0.01
47年目	H 78	0.1353	91.1			0.07	0.01
48年目	H 79	0.1301	91.1			0.07	0.01
49年目	H 80	0.1251	91.1	-5.92	-0.74	0.07	0.01
合計				19.52	23.17	3.39	1.30
単純事業費計					25.44		3.39

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：(一)大島浪板線(浪板工区)(事業全体・残事業)

年度 (基準年)	年次	総走行台キロの年次別伸び率 (南東北7ロータ)			GDP テラト	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)			事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車種	小型貨物	普通貨物			乗用車種	小型貨物	普通貨物	①計	②計	③	現在価値 (A)×(A)	現在価値 (A)×(A)				
H27	供用開始年次	0.99539	0.98645	0.99785	0.99293	0.8548	2.54	0.57	0.27	3.38	2.89	0.36	0.06	0.04	0.46	0.15	0.13	3.99
H 31	1年目	0.99539	0.98645	0.99785	0.99293	0.8548	2.53	0.56	0.27	3.36	2.76	0.35	0.06	0.04	0.45	0.15	0.12	3.96
H 32	2年目	0.99656	0.98845	0.99102	0.99456	0.7903	2.52	0.55	0.26	3.34	2.64	0.35	0.06	0.04	0.45	0.15	0.12	3.94
H 33	3年目	0.99655	0.98832	0.99094	0.99453	0.7599	2.51	0.55	0.26	3.32	2.53	0.35	0.06	0.04	0.45	0.15	0.11	3.92
H 34	4年目	0.99654	0.98818	0.99085	0.99450	0.7307	2.51	0.54	0.26	3.31	2.42	0.35	0.06	0.04	0.45	0.15	0.11	3.90
H 35	5年目	0.99652	0.98804	0.99077	0.99447	0.7026	2.50	0.54	0.26	3.29	2.31	0.35	0.05	0.04	0.44	0.15	0.10	3.88
H 37	6年目	0.99651	0.98789	0.99068	0.99444	0.6756	2.49	0.53	0.25	3.27	2.21	0.35	0.05	0.04	0.44	0.14	0.10	3.86
H 38	7年目	0.99650	0.98775	0.99059	0.99441	0.6496	2.48	0.52	0.25	3.25	2.11	0.35	0.05	0.04	0.44	0.14	0.09	3.84
H 39	8年目	0.99649	0.98761	0.99050	0.99438	0.6246	2.47	0.52	0.25	3.24	2.02	0.35	0.05	0.04	0.44	0.14	0.09	3.82
H 40	9年目	0.99647	0.98744	0.99041	0.99434	0.6006	2.46	0.51	0.25	3.22	1.93	0.34	0.05	0.04	0.43	0.14	0.09	3.80
H 41	10年目	0.99646	0.98728	0.99032	0.99431	0.5775	2.45	0.50	0.24	3.20	1.85	0.34	0.05	0.04	0.43	0.14	0.08	3.78
H 42	11年目	0.99611	0.98346	0.99115	0.99298	0.5553	2.44	0.50	0.24	3.18	1.77	0.34	0.05	0.04	0.43	0.14	0.08	3.75
H 43	12年目	0.99154	0.99342	0.99115	0.99293	0.5339	2.42	0.49	0.24	3.16	1.69	0.34	0.05	0.04	0.43	0.14	0.07	3.73
H 44	13年目	0.99147	0.99338	0.99115	0.99288	0.5134	2.40	0.49	0.24	3.14	1.61	0.34	0.05	0.04	0.42	0.14	0.07	3.70
H 45	14年目	0.99139	0.99333	0.99115	0.99283	0.4936	2.38	0.49	0.24	3.11	1.54	0.33	0.05	0.04	0.42	0.14	0.07	3.67
H 46	15年目	0.99132	0.99329	0.99115	0.99278	0.4746	2.36	0.48	0.24	3.09	1.47	0.33	0.05	0.04	0.42	0.14	0.07	3.64
H 47	16年目	0.99124	0.99324	0.99115	0.99273	0.4564	2.34	0.48	0.24	3.07	1.40	0.33	0.05	0.04	0.41	0.14	0.06	3.62
H 48	17年目	0.99117	0.99320	0.99115	0.99268	0.4388	2.32	0.48	0.24	3.04	1.34	0.32	0.05	0.04	0.41	0.14	0.06	3.59
H 49	18年目	0.99109	0.99315	0.99115	0.99262	0.4220	2.30	0.47	0.24	3.02	1.27	0.32	0.05	0.04	0.41	0.14	0.06	3.56
H 50	19年目	0.99101	0.99310	0.99114	0.99257	0.4057	2.28	0.47	0.24	3.00	1.22	0.32	0.05	0.04	0.40	0.13	0.05	3.53
H 51	20年目	0.99093	0.99305	0.99114	0.99251	0.3901	2.26	0.47	0.24	2.97	1.16	0.32	0.05	0.04	0.40	0.13	0.05	3.51
H 52	21年目	0.99084	0.99301	0.99114	0.99246	0.3751	2.24	0.46	0.24	2.95	1.11	0.31	0.05	0.04	0.40	0.13	0.05	3.48
H 53	22年目	0.99076	0.99296	0.99114	0.99240	0.3607	2.22	0.46	0.24	2.93	1.06	0.31	0.05	0.04	0.40	0.13	0.05	3.45
H 54	23年目	0.99067	0.99291	0.99114	0.99234	0.3468	2.20	0.46	0.25	2.90	1.01	0.31	0.05	0.04	0.39	0.13	0.04	3.42
H 55	24年目	0.99058	0.99286	0.99114	0.99228	0.3335	2.18	0.46	0.25	2.88	0.96	0.30	0.05	0.04	0.39	0.13	0.04	3.40
H 56	25年目	0.99049	0.99280	0.99114	0.99222	0.3207	2.16	0.45	0.25	2.86	0.92	0.30	0.05	0.04	0.39	0.12	0.04	3.37
H 57	26年目	0.99040	0.99275	0.99114	0.99216	0.3083	2.14	0.45	0.25	2.83	0.87	0.30	0.05	0.04	0.38	0.12	0.04	3.34
H 58	27年目	0.99031	0.99270	0.99113	0.99210	0.2965	2.12	0.45	0.25	2.81	0.83	0.30	0.05	0.04	0.38	0.11	0.04	3.31
H 59	28年目	0.99022	0.99265	0.99113	0.99203	0.2851	2.10	0.44	0.25	2.78	0.79	0.29	0.05	0.04	0.38	0.11	0.04	3.29
H 60	29年目	0.99012	0.99259	0.99113	0.99197	0.2741	2.08	0.44	0.25	2.76	0.76	0.29	0.04	0.04	0.37	0.10	0.03	3.26
H 61	30年目	0.99002	0.99254	0.99113	0.99191	0.2636	2.06	0.44	0.25	2.74	0.72	0.29	0.04	0.04	0.37	0.10	0.03	3.23
H 62	31年目	0.98992	0.99248	0.99113	0.99184	0.2534	2.03	0.43	0.25	2.71	0.69	0.28	0.04	0.04	0.37	0.09	0.03	3.20
H 63	32年目	0.98982	0.99242	0.99113	0.99177	0.2437	2.01	0.43	0.25	2.69	0.66	0.28	0.04	0.04	0.36	0.09	0.03	3.17
H 64	33年目	0.98971	0.99237	0.99113	0.99171	0.2343	1.99	0.43	0.25	2.67	0.62	0.28	0.04	0.04	0.36	0.08	0.03	3.15
H 65	34年目	0.98960	0.99231	0.99112	0.99164	0.2253	1.97	0.42	0.25	2.64	0.60	0.28	0.04	0.04	0.36	0.08	0.03	3.12
H 66	35年目	0.98949	0.99225	0.99112	0.99157	0.2166	1.95	0.42	0.25	2.62	0.57	0.27	0.04	0.04	0.35	0.08	0.03	3.09
H 67	36年目	0.98938	0.99219	0.99112	0.99149	0.2083	1.93	0.42	0.25	2.60	0.54	0.27	0.04	0.04	0.35	0.07	0.02	3.06
H 68	37年目	0.98927	0.99213	0.99111	0.99142	0.2003	1.91	0.41	0.25	2.57	0.52	0.27	0.04	0.04	0.35	0.07	0.02	3.04
H 69	38年目	0.98915	0.99206	0.99112	0.99135	0.1926	1.89	0.41	0.25	2.55	0.49	0.26	0.04	0.04	0.34	0.07	0.02	3.01
H 70	39年目	0.98903	0.99200	0.99112	0.99127	0.1852	1.87	0.41	0.25	2.53	0.47	0.26	0.04	0.04	0.34	0.06	0.02	2.98
H 71	40年目	0.98891	0.99194	0.99112	0.99119	0.1780	1.85	0.40	0.25	2.50	0.45	0.26	0.04	0.04	0.34	0.06	0.01	2.95
H 72	41年目	0.98879	0.99187	0.99112	0.99112	0.1712	1.83	0.40	0.25	2.48	0.42	0.26	0.04	0.04	0.34	0.06	0.01	2.93
H 73	42年目	0.98866	0.99180	0.99111	0.99104	0.1646	1.81	0.40	0.25	2.46	0.40	0.25	0.04	0.04	0.33	0.05	0.01	2.90
H 74	43年目	0.98853	0.99174	0.99111	0.99095	0.1583	1.79	0.39	0.25	2.43	0.39	0.25	0.04	0.04	0.33	0.05	0.01	2.87
H 75	44年目	0.98840	0.99167	0.99111	0.99087	0.1522	1.77	0.39	0.25	2.41	0.37	0.25	0.04	0.04	0.33	0.05	0.01	2.84
H 76	45年目	0.98826	0.99160	0.99111	0.99079	0.1463	1.75	0.39	0.25	2.39	0.35	0.24	0.04	0.04	0.32	0.05	0.01	2.82
H 77	46年目	0.98812	0.99153	0.99111	0.99070	0.1407	1.73	0.38	0.25	2.36	0.33	0.24	0.04	0.04	0.32	0.04	0.01	2.79
H 78	47年目	0.98798	0.99145	0.99111	0.99062	0.1353	1.71	0.38	0.25	2.34	0.32	0.24	0.04	0.04	0.32	0.04	0.01	2.76
H 79	48年目	0.98783	0.99138	0.99111	0.99053	0.1301	1.69	0.38	0.25	2.32	0.30	0.24	0.04	0.04	0.31	0.04	0.01	2.73
H 80	49年目	0.98768	0.99130	0.99111	0.99044	0.1251	1.67	0.37	0.25	2.29	0.29	0.23	0.04	0.04	0.31	0.04	0.01	2.70
合計							107.62	22.88	12.45	142.95	57.90	15.03	2.34	1.94	19.31	7.81	6.37	168.63

走行時間短縮(年間)便益 算定表

箇所名:(一)大島浪板線(浪板工区)

項 目	リンク 延長 km	整備なしの走行時間費用				整備ありの走行時間費用				走行時間短縮便益			
		交通量 Qo(台)	走行時間 To(分)	時間価値 (円/台・分)	費用 BTo(億円)	交通量 Qw(台)	走行時間 Tw(分)	時間価値 (円/台・分)	費用 BTw(億円)	交通量 ΔQ(台)	走行時間 ΔT(分)	便 益 BT(億円)	
リンク1	乗用類	0.70km	45.78	0.00	2,928	0.93	45.78	0.46	-2,928	-0.93	-0.46		
			47.91	0.00	574	0.93	47.91	0.09	-574	-0.93	-0.09		
			64.18	0.00	586	0.93	64.18	0.13	-586	-0.93	-0.13		
リンク2	乗用類	0.24km	45.78	0.00	4,077	0.34	45.78	0.23	-4,077	-0.34	-0.23		
			47.91	0.00	792	0.34	47.91	0.05	-792	-0.34	-0.05		
			64.18	0.00	633	0.34	64.18	0.05	-633	-0.34	-0.05		
リンク3	乗用類	1.80km	45.78	0.00	5,502	42.8km/h	—	0.33	-5,502	42.8km/h	-0.33		
			47.91	0.00	4,280	2.42	45.78	1.73	-4,280	-2.42	-1.73		
			64.18	0.00	807	2.42	47.91	0.34	-807	-2.42	-0.34		
リンク4	乗用類	0.00km	45.78	0.00	306	2.42	64.18	0.17	-306	-2.42	-0.17		
			47.91	0.00	5,393	44.6km/h	—	2.25	-5,393	44.6km/h	-2.25		
			64.18	0.00	—	—	45.78	0.00	0	0.00	0.00		
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km	—	—	—	—	—	0.00	—	—	0.00		
			—	—	—	—	—	0.00	—	—	0.00		
			—	—	—	—	—	0.00	—	—	0.00		
小計	乗用類	2.74km	—	—	—	—	—	0.00	—	—	0.00		
			—	—	—	—	—	0.48	—	—	-0.48		
			—	—	—	—	—	0.35	—	—	-0.35		
リンク1 (一)大島浪板線 現道	乗用類	2.50km	2,119	5.00	45.78	1.77	0	0.00	45.78	0.00	2,119	5.00	1.77
			391	5.00	47.91	0.34	0	0.00	47.91	0.00	391	5.00	0.34
			154	5.00	64.18	0.18	0	0.00	64.18	0.00	154	5.00	0.18
リンク2	乗用類	—	2,664	30.0km/h	—	2.29	—	—	0.00	2,664	-30.0km/h	2.29	
			—	—	45.78	0.00	—	—	0.00	0	0.00	0.00	
			—	—	47.91	0.00	—	—	0.00	0	0.00	0.00	
リンク3	乗用類	—	—	—	64.18	0.00	—	—	0.00	0	0.00	0.00	
			—	—	—	0.00	—	—	0.00	0	—	0.00	
			—	—	—	0.00	—	—	0.00	0	—	0.00	
リンク4	乗用類	—	—	—	—	0.00	—	—	0.00	0	—	0.00	
			—	—	45.78	0.00	—	—	0.00	0	0.00	0.00	
			—	—	47.91	0.00	—	—	0.00	0	0.00	0.00	
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km	—	—	—	0.00	—	—	0.00	—	—	0.00	
			—	—	—	0.00	—	—	0.00	—	—	0.00	
			—	—	—	0.00	—	—	0.00	—	—	0.00	
小計	乗用類	2.50km	—	—	—	1.77	—	—	0.00	—	—	1.77	
			—	—	—	0.34	—	—	0.00	—	—	0.34	
			—	—	—	0.18	—	—	0.00	—	—	0.18	
リンクA 国道45号	乗用類	3.00km	2,243	4.50	45.78	1.69	1,988	4.50	45.78	1.49	586	0.06	0.19
			446	4.50	47.91	0.35	376	4.50	47.91	0.30	124	0.06	0.06
			204	4.50	64.18	0.22	179	4.50	64.18	0.19	-39	0.06	0.03
リンクB (主)気仙沼唐桑線	乗用類	0.40km	2,893	40.0km/h	—	2.25	2,543	40.0km/h	—	1.98	671	0.0km/h	0.27
			10,197	0.75	45.78	1.28	9,600	0.72	45.78	1.16	597	0.03	0.12
			1,984	0.75	47.91	0.26	1,857	0.72	47.91	0.24	127	0.03	0.02
リンクC	乗用類	—	807	0.75	64.18	0.14	740	0.72	64.18	0.13	67	0.03	0.02
			—	—	—	0.00	—	—	0.00	0	—	0.00	
			—	—	—	0.00	—	—	0.00	0	—	0.00	
その他計 (リンク数) 165	乗用類	225.38km	—	—	—	122.06	—	—	119.28	—	—	2.79	
			—	—	—	26.29	—	—	25.73	—	—	0.56	
			—	—	—	26.00	—	—	25.63	—	—	0.37	
小計	乗用類	228.78km	—	—	—	174.35	—	—	170.64	—	—	3.71	
			—	—	—	125.03	—	—	121.93	—	—	3.09	
			—	—	—	26.90	—	—	26.26	—	—	0.64	
計 (リンク数) 171	乗用類	234.02km	—	—	—	178.28	—	—	174.14	—	—	4.14	
			2,377	—	—	126.80	2,377	—	—	124.35	0	—	2.44
			483	—	—	27.24	483	—	—	26.74	0	—	0.50
その他計 (リンク数) 171	乗用類	—	440	—	—	26.54	440	—	26.30	—	—	0.24	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			3,299	—	—	180.58	3,300	—	—	177.39	-1	—	3.18

バイパス等及び国道の現道は代表リンクとする。  
 その他のリンクA、B、Cは、便益の高いリンクを3つ選定し、路線名を記載する。  
 各リンクのその他計には、リンク数及び合計延長も記入する。

走行経費減少(年間)便益算定表(推計年度:H42)

箇所名:(一)大島浪板線(浪板工区)

項目	リンク延長 km	整備なしの走行経費				整備ありの走行経費				走行経費減少便益			
		沿道状況	交通量 Qo(台)	走行経費原単位 (円/台・km)	費用 BRo(億円)	沿道状況	交通量 Qw(台)	走行経費原単位 (円/台・km)	費用 BRw(億円)	交通量 ΔQ(台)	便益 BR(億円)		
バイパス	リンク1	乗用類			0.00	平地面	2,928	17.14	0.13	-2,928	-0.13		
		小型貨物			0.00		574	18.63	0.03	-574	-0.03		
		普通貨物車			0.00		586	35.59	0.05	-586	-0.05		
		計			0.00		4,088	—	0.21	-4,088	-0.21		
	リンク2	乗用類	0.24km			0.00	平地面	4,077	17.16	0.06	-4,077	-0.06	
		小型貨物				0.00		792	18.65	0.01	-792	-0.01	
		普通貨物車				0.00		633	35.69	0.02	-633	-0.02	
		計			0.00		5,502	—	0.10	-5,502	-0.10		
	リンク3	乗用類	1.80km			0.00	平地面	4,280	17.16	0.48	-4,280	-0.48	
		小型貨物				0.00		807	18.65	0.10	-807	-0.10	
		普通貨物車				0.00		306	35.70	0.07	-306	-0.07	
		計			0.00		5,393	—	0.65	-5,393	-0.65		
リンク4	乗用類				0.00				0.00	0	0.00		
	小型貨物				0.00				0.00	0	0.00		
	普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00		
	計			0.00					0.00	0	0.00		
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km	—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
	小型貨物		—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
	普通貨物車		—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
	計		—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
小計	乗用類	2.74km	—	—	0.00		—	—	0.67	—	-0.67		
	小型貨物		—	—	0.00		—	—	0.14	—	-0.14		
	普通貨物車		—	—	0.00		—	—	0.15	—	-0.15		
	計		—	—	0.00		—	—	0.96	—	-0.96		
現道	リンク1 (一)大島浪板線 現道	乗用類	2.50km	平地部	2,119	18.35	0.35	平地部	0	36.54	0.00	2,119	0.35
		小型貨物			391	19.87	0.07		0	28.30	0.00	391	0.07
		普通貨物車			154	40.83	0.06		0	66.45	0.00	154	0.06
		計			2,664	—	0.48		0	—	0.00	2,664	0.48
	リンク2	乗用類				0.00				0.00	0	0.00	
		小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	
		普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	
		計			0.00					0.00	0	0.00	
	リンク3	乗用類				0.00				0.00	0	0.00	
		小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	
		普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	
		計			0.00					0.00	0	0.00	
リンク4	乗用類				0.00				0.00	0	0.00		
	小型貨物				0.00				0.00	0	0.00		
	普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00		
	計			0.00					0.00	0	0.00		
その他計 (リンク数) 0	乗用類	0.00km	—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
	小型貨物		—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
	普通貨物車		—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
	計		—	—	0.00		—	—	0.00	—	0.00		
小計	乗用類	2.50km	—	—	0.35		—	—	0.00	—	0.35		
	小型貨物		—	—	0.07		—	—	0.00	—	0.07		
	普通貨物車		—	—	0.06		—	—	0.00	—	0.06		
	計		—	—	0.48		—	—	0.00	—	0.48		
その他のリンク	リンクA 国道45号	乗用類	3.00km	山地部	2,243	16.09	0.40	山地部	1,988	16.09	0.35	255	0.04
		小型貨物			446	17.99	0.09		376	17.99	0.07	70	0.01
		普通貨物車			204	35.83	0.08		179	35.83	0.07	25	0.01
		計			2,893	—	0.56		2,543	—	0.49	350	0.07
	リンクB (主)気仙沼唐桑	乗用類	0.40km	市街地	10,197	24.29	0.36	市街地	9,600	24.12	0.34	597	0.02
		小型貨物			1,984	24.01	0.07		1,857	23.88	0.06	127	0.00
		普通貨物車			807	44.83	0.05		740	44.27	0.05	67	0.00
		計			12,988	—	0.48		12,197	—	0.45	791	0.03
	リンクC	乗用類	0.00km			0.00				0.00	0	0.00	
		小型貨物				0.00				0.00	0	0.00	
		普通貨物車				0.00				0.00	0	0.00	
		計			0.00					0.00	0	0.00	
その他計 (リンク数) 165	乗用類	225.38km	—	—	31.05		—	—	30.45	—	0.59		
	小型貨物		—	—	7.20		—	—	7.10	—	0.10		
	普通貨物車		—	—	12.07		—	—	11.95	—	0.11		
	計		—	—	50.31		—	—	49.51	—	0.80		
小計	乗用類	228.78km	—	—	31.80		—	—	31.14	—	0.66		
	小型貨物		—	—	7.36		—	—	7.24	—	0.12		
	普通貨物車		—	—	12.20		—	—	12.07	—	0.13		
	計		—	—	51.36		—	—	50.45	—	0.91		
計 (リンク数) 171	乗用類	234.02km	—	—	2,377	—	—	—	31.82	0	0.34		
	小型貨物		—	—	483	—	—	—	7.38	0	0.05		
	普通貨物車		—	—	440	—	—	—	12.22	0	0.04		
	計		—	—	3,299	—	—	—	51.41	-1	0.43		

その他は代表的(便益の大きい)な路線及びリンクを3つ選定する  
 その他計にはリンク数と延長を必ず記入すること

B様式6(事故)

交通事故減少(年間)便益算定表(推計年度:H42)

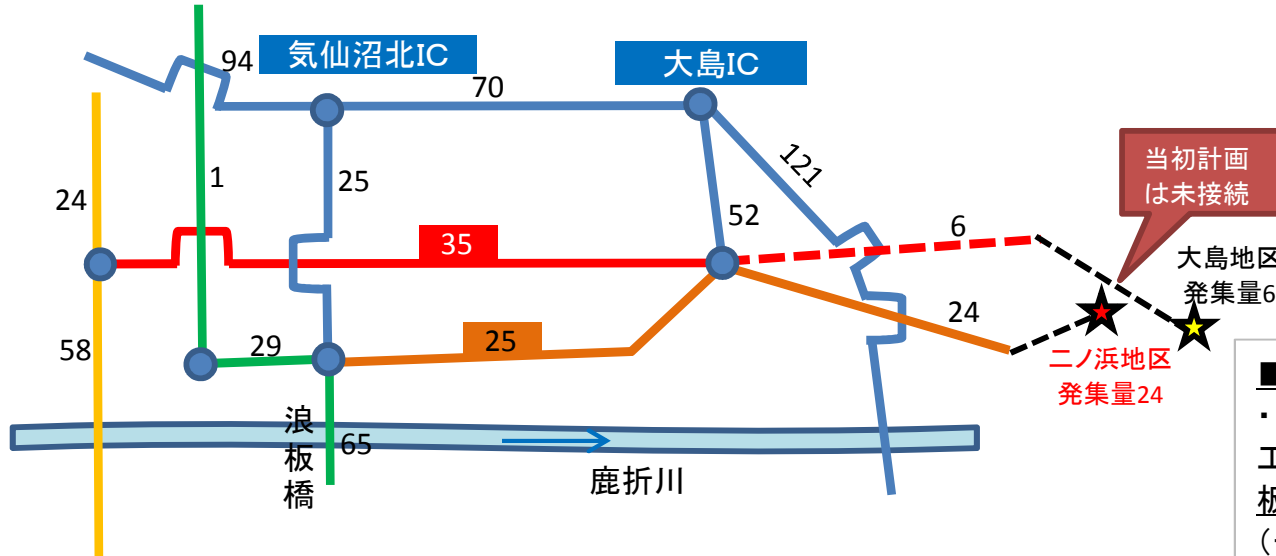
箇所名:(一)大島浪板線(浪板工区)

項目	リンク延長 km	整備なしの交通事故損失					整備ありの交通事故損失					交通事故減少便益				
		道路種別	車線数	中央帯	交通量 Qo(台)	主要交差点数 Lo(箇所)	費用 BAo(億円)	道路種別	車線数	中央帯	交通量 Qw(台)	主要交差点数 Lw(箇所)	費用 BAw(億円)	交通量 ΔQ(台)	便益 BA(億円)	
バイパス	リンク1	0.70km			0		0.00	平地部	2	無	4,088	1	0.07	-4,088	-0.07	
	リンク2	0.24km			0		0.00	平地部	2	無	5,502	1	0.05	-5,502	-0.05	
	リンク3	1.80km			0		0.00	平地部	2	無	5,393	1	0.16	-5,393	-0.16	
	リンク4	0.00km			0		0.00				0		0.00	0	0.00	
	その他計 (リンク数) 0	0.00km	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	0.00	-	0.00	
	小計	2.74km	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	0.28	-	-0.28	
現道	リンク1	2.50km	平地部	2	無	2,664	1	0.11	平地部	2	無	0	1	0.00	2,664	0.11
	リンク2	0.00km			0		0.00				0		0.00	0	0.00	
	リンク3	0.00km			0		0.00				0		0.00	0	0.00	
	リンク4	0.00km			0		0.00				0		0.00	0	0.00	
	その他計 (リンク数) 0	0.00km	-	-	-	-	-	0.00	-	-	-	-	0.00	-	0.00	
	小計	2.50km	-	-	-	-	-	0.11	-	-	-	-	0.00	-	0.11	
その他のリンク	リンクA 国道45号	3.00km	山地部	2	無	2,893	1	0.13	山地部	2	無	2,543	1	0.12	350	0.02
	リンクB (主)気仙沼唐桑線	0.40km	市街地	2	無	12,988	1	0.16	市街地	2	無	12,197	1	0.15	791	0.01
	リンクC	0.00km			0		0.00				0		0.00	0	0.00	
	その他計 (リンク数) 165	225.38km	-	-	-	-	-	10.40	-	-	-	-	10.11	-	0.29	
	小計	228.78km	-	-	-	-	-	10.70	-	-	-	-	10.38	-	0.32	
計 (リンク数) 171	234.02km	-	-	-	-	-	10.80	-	-	-	-	10.66	-	0.14		

その他は代表的(便益の大きい)な路線及びリンクを3つ選定する  
 その他計にはリンク数と延長を必ず記入すること  
 その他のリンクのリンクA~Cには必ず路線名を記入する

■当初(H23)と再評価時(H27)のネットワーク及び交通量の比較

●当初(H23)のネットワーク及び交通量配分(単位:百台/日)

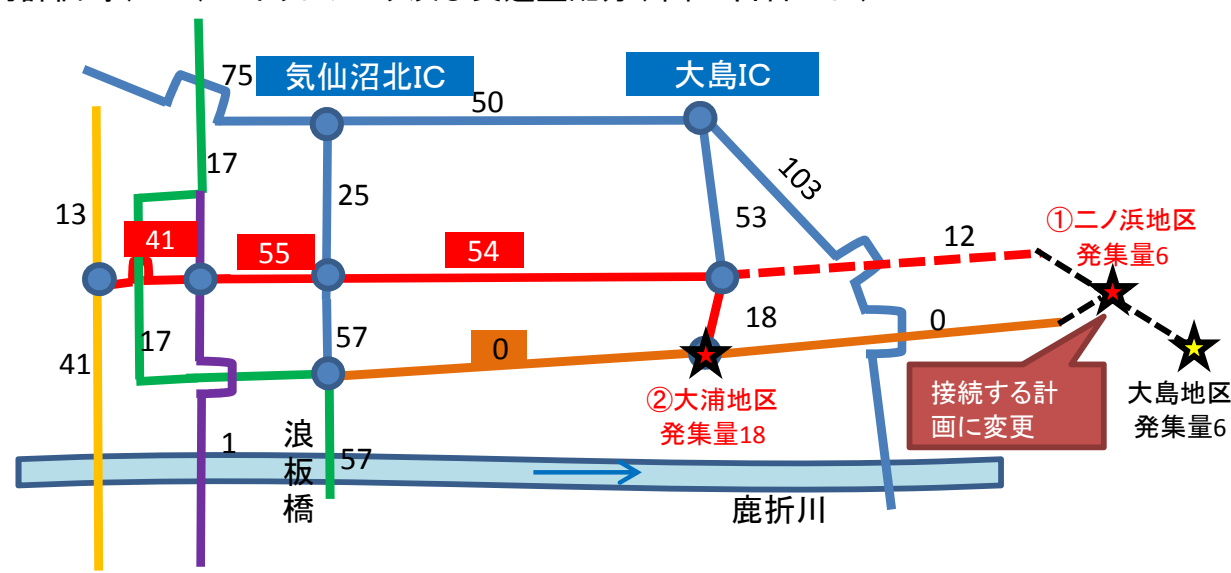


凡例	
(一)大島浪板線 (補助工区)	———
(一)大島浪板線 (交付金路線)	- - - - -
(一)大島浪板線 (現道)	———
三陸縦貫自動車道	———
(主)気仙沼唐桑線	———

■留意点

- ・当初は気仙沼北ICと(一)大島浪板線(補助工区)は立体交差であったため、(一)大島浪板線(補助工区)の交通量は**35百台/日**、(一)大島浪板線(現道)の交通量は**25百台/日**であった。
- ・再評価時は気仙沼北ICと(一)大島浪板線(補助工区)は平面交差となったため、(一)大島浪板線(現道)の交通量が大幅に減ることになり、(一)大島浪板線(補助工区)の交通量は**54百台/日**、(一)大島浪板線(現道)の交通量は**0百台/日**となった。

●再評価時(H27)のネットワーク及び交通量配分(単位:百台/日)

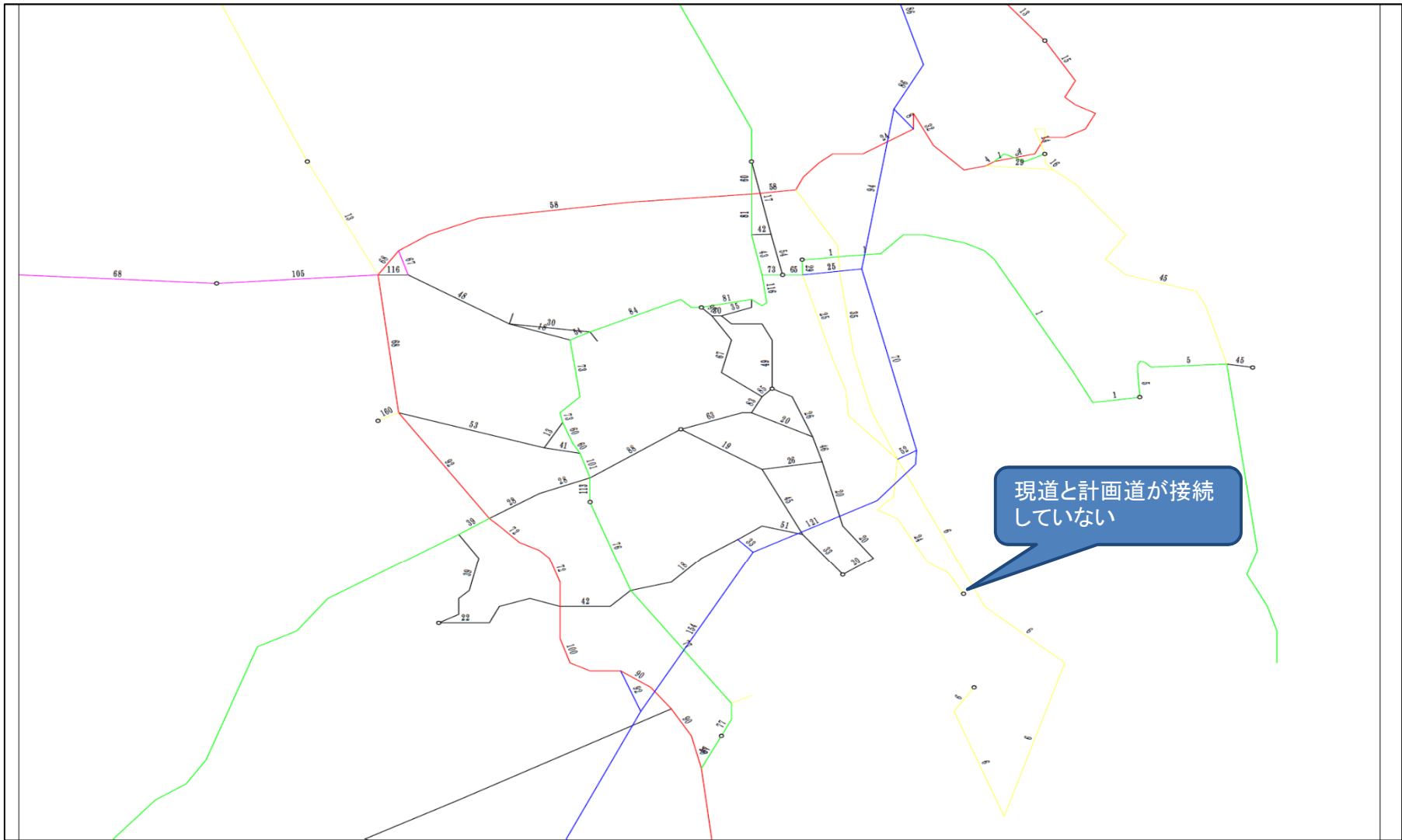


(追記)

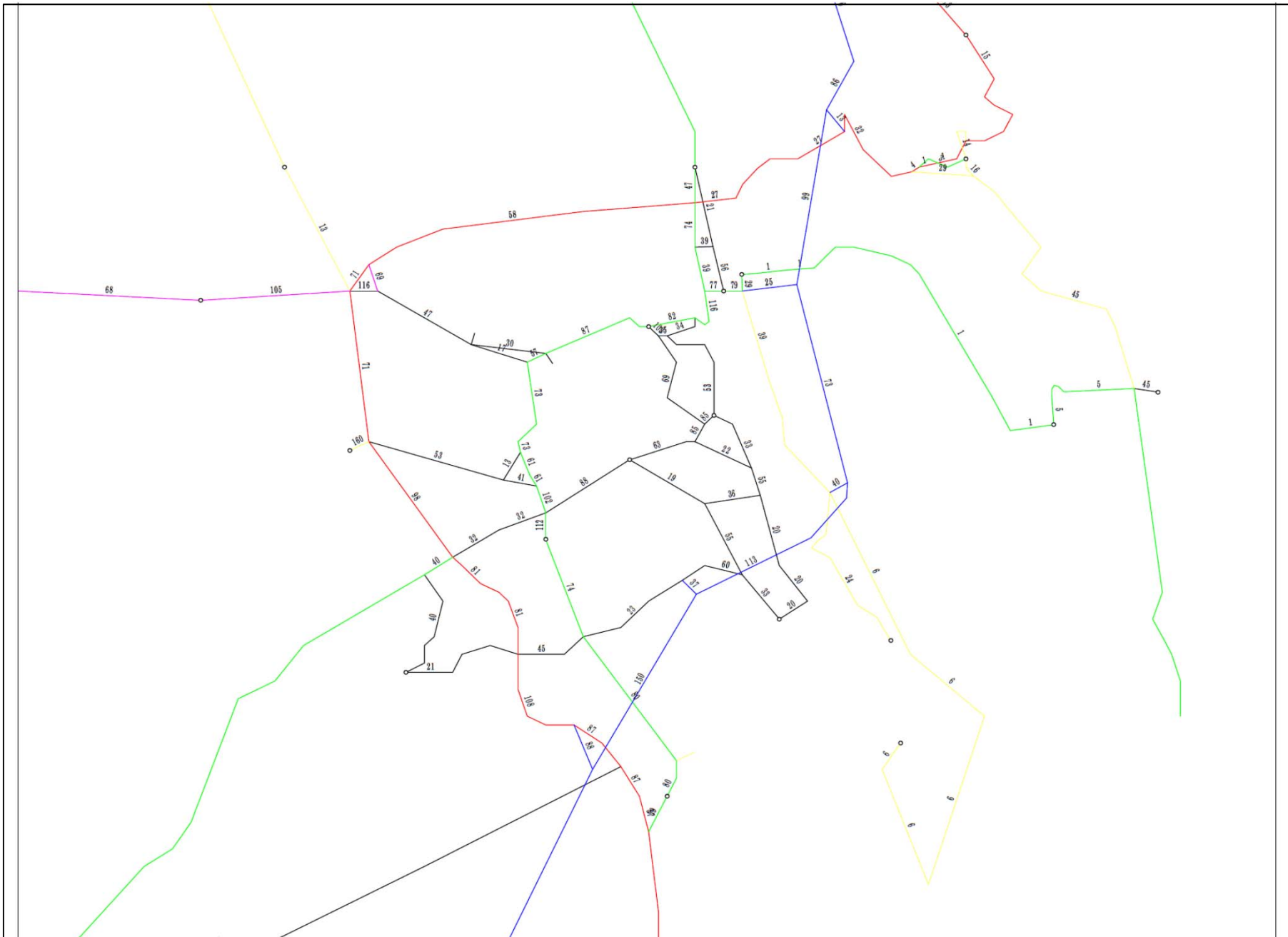
- ・当初は現道とは接続しない計画だったが、再評価時には現道と接続する計画に変更。
- ・また、再評価時は現道交通量の再現性確保のため、二ノ浜地区の発生点を①二ノ浜地区と②大浦地区とに2分割。

当初: 6+24=30      今回: 12+18=30

■事業着手時のネットワーク  
H42整備あり

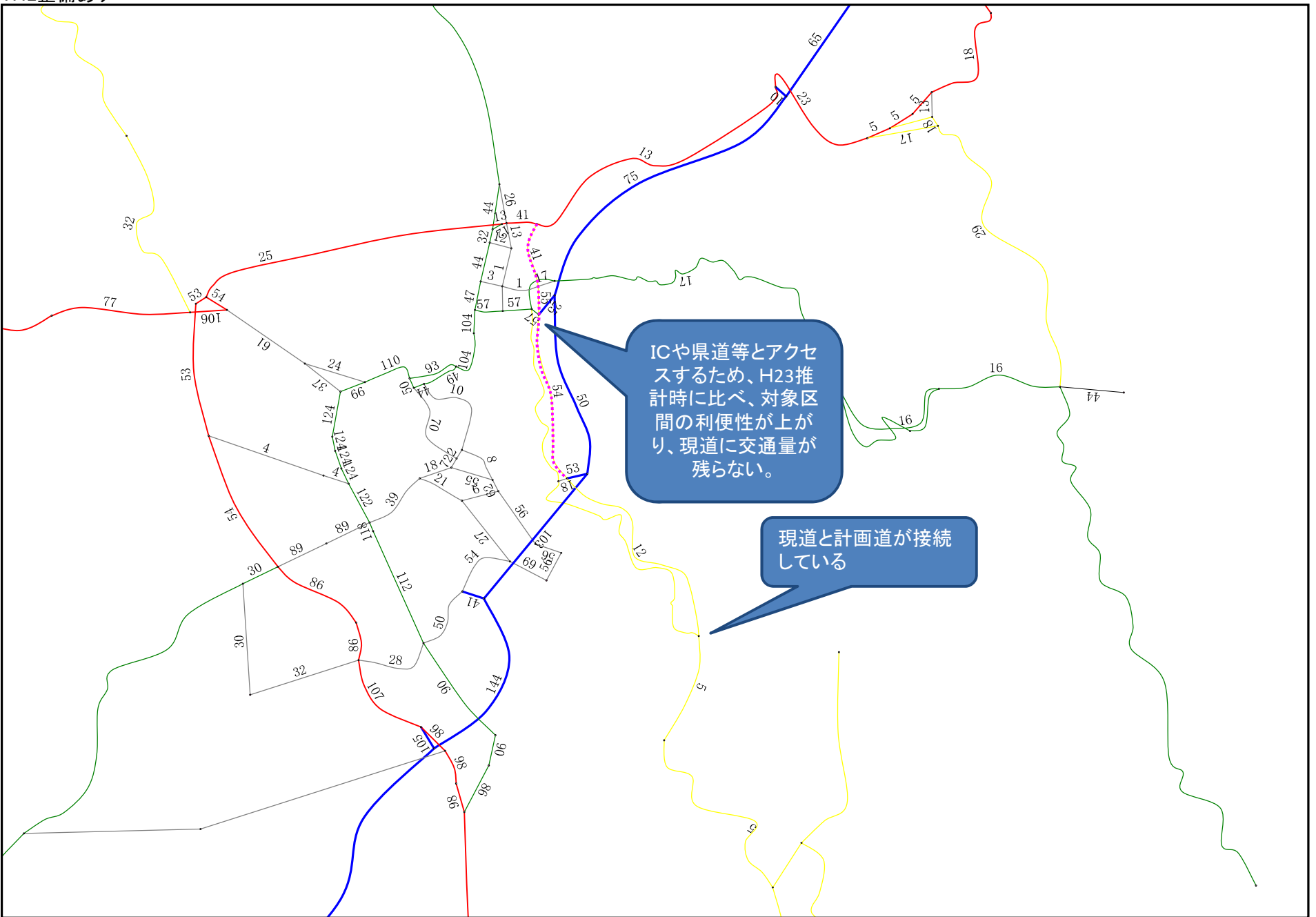


H42整備なし





■再評価時のネットワーク  
H42整備あり



H42整備なし

